



11 2024

発行所 大阪市中央区玉造2-24-22 カトリック大阪高松大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700 (代表) TEL (06) 6946-3223 (直通) FAX (06) 6946-3224 (直通) E-mail: jho@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙「点訳版」「音訳」があります。希望の場合は下記まで申込み「点訳版(点字本)」教区報 ☎06-6946-3223(直通) ☎06-6946-3224(直通)「音訳(テープ・デジ)」山口さん ☎0798-34-4228

☆司牧者からこの一冊 桜町教会聖信式 第4回性虐待被害者のための祈りと償いの日 墓じまいの背景

☆「霊における会話」の実践 ☆2024年度 使徒職養成研修会 ☆住吉教会聖信式 ☆カテキズムの学び

☆「教区報」原稿・資料等の締切は前々月末です。

☆「教区報」原稿・資料等の締切は前々月末です。

聖年に向けて



2023年8月15日に教皇フランシスコから大阪高松大司教区の設立が発表され、同年10月9日に設立式を行いました。そして、新大司教区の保護の聖人として「ロザリオの聖母」のご保護を祈りました。大阪でも四国でも多くの方々がカテドラルに集い、ともに神に賛美をささげることができて大きな喜びでした。



大司教前田万葉

東京大司教区 タルチシオ 菊地功大司教 枢機卿任命



教皇フランシスコは、10月6日正午、バチカンのサン・ピエトロ広場に集まった巡礼者や訪問者に向けての「お告げの祈り」を祈る際、12月8日の枢機卿会議において、21人の枢機卿を親任することを発表しました。日本からは、菊地功大司教(東京教区)が選ばれ、日本人としては、2018年に選ばれた前田万葉枢機卿に次いで、7人目の枢機卿となります。

《つぶやき》

驚きました。心の底からこれだけ驚いたのは久しぶりなほどに驚きました。そして困惑しました。枢機卿は単なる名誉職ではなく、教皇様の顧問として果たすべき役割が多々あることを考えると、自分の足りなさばかりが浮かんできます。

(ブログ参照) <https://bishopkikuchi.cocolog-nifty.com/>

教区納骨者および死者
祈念ミサ(大阪)
11月4日(月・祝)11時
司式: 酒井俊弘補佐司教
大阪高松カテドラル 聖マリア大聖堂

合同追悼ミサ(四国)
11月4日(月・祝)10時
司式: 森 一幸 神父
カトリック桜町教会納骨堂
(ミサ後) 姥ヶ池墓地墓参

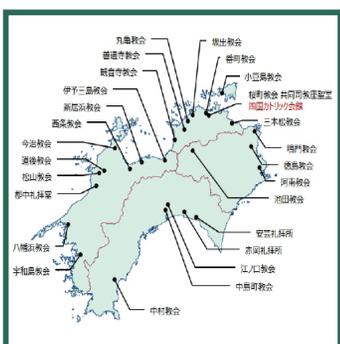
風は流れ息吹を感じて



大阪高松教区が設立された2023年10月9日から一年が経ちました。前田大司教と私の二人で、設立記念ミサをはじめ、聖信式や献堂式や通常の主日ミサなどの機会に教区内の小教区教会を訪れてきました。

今年10月9日までの一年間で、教区内七府県の合計32カ所(旧大阪教区内17カ所・旧高松教区内15カ所)の教会を訪問し、それぞれの共同体の司祭・信徒の皆さんと共に過ごすことができました。歓迎してくださった皆さまに感謝いたします。昨年5月より新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、それまでできなかった茶話会や昼食会が可能となり、皆様と歓談ができたことは私たちにとても大きな喜びでした。

新たに一つの教区となった旧高松教区の小教区教会への訪問は、ほとんどの場合初めての訪問でした。四国の広さに驚くとともに、各県の特徴ある伝統と美しさに触れました。宣教がむずかしい土地柄にもかかわらず、数多くの宣教師の方々の熱意と、信徒の皆様の深い信仰のおかげで、長きに渡って教会活動がなされてきた歴史も知ることができました。



四国小教区所在地



大阪小教区所在地

距離の長さや交通事情のために、なかなか実際の交流がむずかしいのは確かですが、来年2025年の聖年のテーマは『希望の巡礼者』です。教区全体の12地区に30ほどの教会が巡礼聖堂に指定される予定ですので、グループで、家族で、個人で教会を訪ね、そこに息づいている信仰の息吹をぜひ実際に感じ取っていただきたいと願っています。

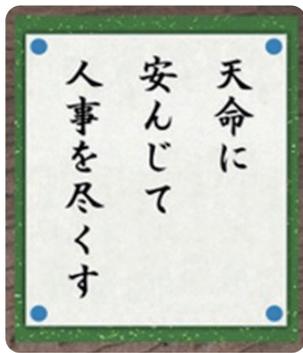
補佐司教 酒井俊弘

ひとりでお悩まないで
~私たちに聴かせてください~
カトリック大阪高松大司教区 ハラスメント相談窓口
※委員会はハラスメント全般を視野に入れることになりました。そのため、名称変更します。
電話番号:06-6941-9718
相談窓口受付時間
月・火・金曜日(祝日を除く)
午前10時~午後4時
あなたの悩みを親身になって受け止めます。秘密は必ず守られます。



教区内の司牧者が記憶に残る、また心に残った書籍を司牧者紹介を兼ねて掲載。

今回は、ブラザー八木信彦が担当。
ブラザー八木信彦がらうの一句



一冊ではなくて、しかも仏教の言葉になることをおゆるしく下さい。
煩悩(自分中心に欲望が)

【プロフィール】
ブラザー八木信彦
(オプレート会)



生年月日 1960年8月4日(現在64歳)

受洗 徳島教会

- 1983年 精神薄弱者更生施設おおぎ学園(徳島県)
- 1984年 精神薄弱児通園施設ねむの木療育園(徳島県)
- 1988年 初誓願(オプレート会入会)
- 1991年 終生誓願、オプレート会召命係
- 2000年 修練長
- 2006年 青少年委員長(旧高松教区)
- 2020年 徳島刑務所教誨師
- 2023年 オプレート会日本韓国地区長

行使される状況(エゴ(自己主張)、宿業(昔の行為)、因縁(直接的間接的原因)、無意識(97~99%を占める)等、それらの結果や連鎖、積み重ねの中で人生は展開していきます。複雑に絡み合った膨大な量のそれらを、制御したり見通したり管理することは、残念ながら人にはできません。でも自分の力でそれらを解決できる知恵があると思いついていきます。

法然上人は比叡山で長年修行しましたが、どれだけ修行を重ねても煩悩を制御できるのでも、ましてなくすことなどできないと悟りました。そして、自分の行為が招く結果に束縛はされますが、それに任せて一重に仏の救いを願うことの教えを説きました。それらの教えの流れの中の言葉が「天命に安んじて人事を尽くす」です。「人事を尽くして天命を待つ」(これだけ努力したのだから、あとは天命に任せる)が一般的ですが、大谷大学初代学長、清沢満之は、「自分を導い

てくださる大きな計らいに任せることよって、最善を尽くせるようになっていく」と説きました。

キリスト教で言う原罪を、自分の力で何とかできるという錯覚に陥り、神さまに信頼することを忘れていたこと、神さまへの委ねを通して、原罪の宿る私たちでも御旨が実現されていく希望、これらの気づきや深めをいただきました。

次回は古川健一神父(中村教会)です。

桜町教会堅信式
永遠に生きるために

2024年9月8日桜町教会での主日ミサにおいて、酒井俊弘補佐司教と森一幸神父の司式により、堅信式が執り行われた。約100人の参列者が見守る中、桜町教会5人、番町教会1人の計6人が、堅信の秘跡を授かった。



塗油と按手で秘跡を体感

ハラスメント対応委員会
祈りの力が
苦しむ人びとに及びますように

9月28日(土)に、サクラファミリアにおいて「第4回性虐待被害者のための祈りと償いの日 テゼによる祈りの集い」が行われた。

今回は10人ほどの参加者が心を込めて祈った一時間だった。

第1回目から続くプログラムを定番として、テゼの祈りの合間に3つの聖書を黙想し、性虐待被害に遭った方々に私たちが寄り添うことができますようにとの心を確認した。

今回のメッセージは、1人のシスターが行った。マスコミなどで報道された旭川女子中学生のいじめ事件を取り上げながら、周りが気づけなかったこと、彼女の4000字にも及ぶ訴えが素通りされてしまったこと、死の直前までいじめられていたことなどの悲しさを共有した。またシスターは、教会でもつぎのような性被害が多く起きていることをご自身の出会いから話された。

1人のカトリック家庭の方は、父親から幼い頃に性虐待を受けていたことを話し、自分が我慢すればとの思いが破裂し、40才の頃に体も心も弱ってしまったこと、他にもう一つのエピソードを発表してくださいました。

シスターはこの重大さに対して、何もできない無力さを心に留め、教皇フランシスコの「私たちはその弱者を見捨ててきた。私たちは恥じるべきだ」との言葉をかみしめる必要を語った。

祈りの会のあと、中米からやってきた1人の女性旅行者も懇談会に同席し、色いろな話ができただことは、祈りが持っている関わりの力を感じる時でした。今後とも、この祈りの集いを通して、関わることの大切さを見出ししていきたいと思った。

(文 大阪高松教区ハラスメント対応委員会)



メッセージを感じとり祈りにつなぐ

酒井司教は説教で、「堅信の秘跡とは文字どおり信仰を堅める秘跡であって、殉教する覚悟もある信仰になると述べられ、フランス革命においてカルメル会修道女16人が処刑された実話を元にしたオペラ「カルメル会修道女の対話」を例として、どのような形で信仰が強められるのかを説明された。逃げ出した修道女ブランシュが処刑の場に戻り他の15人とともに殉教するという物語で、ブランシュは修道女であることを隠して平穏に生きることもできたが、修道女として永遠の命に生きる方を選んだ。そのような信仰に強めていただくのが堅信の秘跡であって、教会の歴史の中で全ての殉教者が堅い信仰を示してくれている」と説かれた。

「堅信の秘跡は、堅められた



◆教会の特色と特徴
高松教区の司教座聖堂として60年の歴史がありましたが、大阪高松大司教区設立に伴い、「大阪高松大司教区共同司教座聖堂」という呼称に変更されました。

- ◆守護 被昇天の聖母
- ◆高松市桜町1丁目8-9
- ◆087-831-7455
- ◆設立年 1955年12月
- ◆ホームページ

桜町教会紹介

信仰で生きていくための大事な秘跡なので大切にしたい」と心えられた。
(文 長谷川聖)



◆おすすめの店
香川県の人口1万人当たりの「そば・うどん店」数は全国第1位(総務省統計)。桜町教会の周辺にも数軒のうどん店があります。筆者のおすすめは「讃岐うどん・こがね高松桜町店」です。こがね高松桜町店を散策された後、は教会にほど近い特別名勝「栗林公園」を散策されてはいかがでしょう。



墓じまいとは何をするのか

「墓じまい」とは、家族や親族が持っているお墓を閉じて、遺骨を他の場所に移す手続きのことを指します。この手続きは、次のような理由から行われることが多く見られます。

1. お墓が遠方にある
2. 高齢化で昔ほどお参りに行けない
3. 維持管理負担が大きい
4. 継承者がいない
5. 親戚や子どもに迷惑をかけたくない
6. 後の世代がどうするか不安



少子高齢化や核家族化、過疎化の流れ

墓じまいの背景

最近、司祭の集いなどで「墓じまい」についての問い合わせが増えているのが持ち上がった。カトリックの墓地ではなく、一般のお墓を「墓じまい」したいとの相談が多いとのこと。背景には、さまざまな家庭の事情で先祖代々のお墓の維持が困難になってきている事情があるようだ。そこで、終活の講座などに取り組んでおられる、株式会社セレモノーいけだ（大阪府池田市）の小森正さんに、「墓じまい」について手続きや留意すべき事柄についてお聞きした。

《墓じまいの手続き》

- ① 市区町村の役所に相談する
- ② 墓地の管理者に連絡する
- ③ 遺骨の移転先を決める
- ④ 墓じまいの作業を依頼する
- ⑤ 役所への届出を行う

このように手続きだけでも大変です

《墓じまいに必要な準備》

◆ 撤去費用の見積もり

墓地の撤去費用は一般的に 20 万円～ 40 万円程度です。正確な金額を知るためには、専門の業者に見積もりを依頼する必要があります。

◆ 魂抜き（魂入れ）の儀式

魂抜き（魂入れ）の儀式は、宗派や宗教によって費用が異なりますが、一般的には 1 万円～ 3 万円程度です。この儀式は、お墓に宿るご先祖様の魂を移動させるために行われます。

墓じまいは、単に墓石を撤去するだけではありません。最も重要なのは、埋葬されている遺骨をどのように扱うかです。墓じまいを行う理由によって、必要な手続きや注意点が異なります。以下にそれぞれのケースにおける具体的な手順と気を付けるべきポイントを挙げます。

よくあるトラブル

墓じまいの際には、親族間で意見が対立することが多く見られます。以下に代表的なトラブルの例を挙げます。

1. 親族の意見の相違
2. 費用負担の問題
3. 墓参りの問題

代々受け継がれた土地からご先祖様を他所に移すなんて



費用はだれが負担しますの!?



お墓参りがしたいのに……



墓じまいの手順

▶ 近場で新たに墓を建立する場合

《事前準備》

新たな墓地の選定や購入、墓石のデザインと注文を行います。新しい墓地の管理規約も確認しましょう。

《埋葬許可》

墓地管理者や自治体に問い合わせる手続きをすすめます。

《遺骨の移動》

旧墓地から遺骨を取り出し新しい墓地に移動します。この際、遺骨の取り扱いには慎重を期し、適切な儀式を行うことが重要です。

《旧墓地の処分》

旧墓地の撤去作業を行い、墓地管理者に報告します。

▶ 納骨堂や永代供養墓に移す場合

《選定》

適切な納骨堂や永代供養墓を選びます。施設の場所、費用、管理体制等を確認しましょう。

《手続き》

納骨堂や永代供養墓に遺骨を移すための手続きを行います。必要書類や手数料について施設ごとに異なるため、事前に確認が必要です。

▶ その他のケース（自宅供養や自然散骨など）

《法律確認》

自宅供養や自然散骨を行う場合、地域の法律や規制を確認することが重要です。特に自然散骨は場所や方法に制限がある場合があります。

《儀式》

遺骨の取り出しや移動の際には、供養の儀式を行うことが、一般的です。



墓じまいの増加傾向

2022年度の墓じまいの件数は全国で15万1076件と報告されており、前年度比で3万2101件増加しています。これは上記のような理由から多くの人が墓じまいを選択するようになってきていることを示しています。墓じまいは家族や親族の将来を考慮した大きな決断です。費用や手間をかけずに遺骨を安置するための方ととして、多くの人が選ぶようになってきました。業者に依頼する場合は慎重に選定して、墓じまいの全てを専門の業者に依頼することをすすめます。

(文 小森正)

いずれのケースでも、墓じまいの際には慎重に計画を立て、適切な手続きを踏むことが重要です。また、親族や関係者との十分な話し合いを行い、合意の上ですすめることが大切です。

新福音化委員会より

「霊における会話」の実践

今回の教区報が出るころには、バチカンでのシノドス第二会期が終了しており、その内容が報道され始めていることと思います。その報告は次回以降に行うこととし、今回は、小教区や地区で取り組みが始まっている「霊における会話」の具体的な実践をお伝えします。



(1) 小教区評議会メンバーによる「霊における会話」ある小教区で行った実例です。

この小教区では、まずは小教区評議会メンバーが体験し、今後を見つめようという趣旨で行いました。「信徒が減る中での小教区活動のこれから～何を重視すると良いのでしょうか」がテーマでした。今行っている活動を信徒数が減少する中で、すべてを行うことは困難になるでしょうから、特に力を注ぐべき活動が何であるかを探り、祈りのうちに分かち合いました。

霊における会話による分かち合いは、「聞きながら祈る、祈りながら聞き、話す」ことが大切になります。



第一ステップ「わたし」、第二ステップ「あなた」は、祈りの時に探ることになります。間を取った後、一人2分見当で分かち合い、2～3人が分かち合った後に1分前後の沈黙の時間を取ります。聞いた分かち合いをメモしたり味わい直したりする時間です。



第三ステップ「わたしたち」で、メンバー全員に共有される方向性を出し合い、分かち合うのですが、この第三ステップまで行うのは時間的に難しかったです。

ただ、最初の二つの段階を共有することで、お互いへの信頼が実感できますし、祈りのうちに進める中に神さまの臨在が感じられるという恵みを体験します。貴重な共同体験です。

(2) 地区での「霊における会話」の研修会

ある地区では、3回シリーズでシノドス研修会を行いました。最初は、そもそもシノドスとはがテーマでした。その後の研修会では、「若者の教会離れ」「外国籍信徒との交わり」を見つめました。全部は報告できませんので、外国籍信徒との交わりを報告します。

この地区にはフィリピンの人たちが多く、このテーマを行うために10人くらいのフィリピンの人たちが参加してくれました。日本語の得意不得意はありましたが、皆さん積極的に参加し、分かち合ってくれました。

第一ステップに時間がかかりましたが、日本に来て感じたことを話してもらい、聞きました。直接に話してもらわなければ伝わらない内容でした。辛かった事、日本語で苦労したこと、仕事の大変さなど、涙ありの分かち合いとなりました。



第一ステップと第二ステップは混ざり合うような内容になり、第三ステップでこれからも今日のような集いを続けていくこと、彼らの仕事上の理不尽な取り扱いの解消のために具体的に関わっていくこと、子どもたちの信仰養成の大切さなどがだされました。非常に親密で温かい研修会となりました。

小教区や地区で、具体的なテーマで「霊における会話」を実践する意味や価値は大きいと感じています。皆さんの地区や小教区でも、具体的に企画してみたいかがでしょうか。

(シノドスチーム 吉村信夫)



使徒職養成研修会

講師の高山神父と話に聞き入る参加者

高山神父は自作のパワーポイントを駆使し、バンコクでのアジアシノドスやローマでの小教区司祭のためのシノドスの体験を分かち合いながら「ともに歩む大切さ」「一人ひとりの存在の意義」を感じたと述べられた。また「聖職者主義の克服」「愛のある組織」「霊的な深まり」「協働」の大切さを深く感じ、自ら祈る、自

9月7日(土)午後、サクラファミリアで司教協議会シノドス特別チームの高山神父を迎え使徒職養成研修会が開かれた。

ら思考することで「霊における会話」の中で個人としての私の識別から、グループの中での私たちの識別へと豊かにされ、そこにキリストが共にいることを深く感じたと述べられた。第2部では「霊における会話」の進め方と聖霊の働きを意識する訓練の後、小グループに分かれ、「霊における会話」を実践

した。短時間で、初体験の方も多し、グループ発表では「次第に皆の表情が和らいでいった」「このような会話を小教区でも続けていく必要を感じた」などの声も聞かれた。研修会は成功裏に終わった。

(使徒職養成委員会)

平尾亨三

あきら

中秋節のお祝いに合わせて

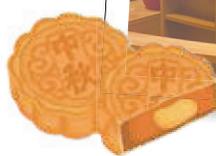
中国人信徒による交流会

現在、大阪高松大司教区の中国語のミサは毎月第3日曜日午後2時からなみはや教会で行われている。

このたび9月15日、中国の祝日「※中秋節」に合わせて、ミサと親睦の集いが行われた。各地から集まった中国人となみはや教会の信徒たち、あわせて約80人が参加した。前田大司教がミサを司式し、説教は淳心会のアントニオ・チェン神父が中国語で行った。ミサの終わりに前田大司教は、神様に心を向け互いに協力して一つになつて歩んで行くように励ました。ミサの後、中国伝統料理や手づくりの月餅が用意され、和やかな雰囲気の中で交流会が行われた。世話人の陳燕寧さんは「これからも定期的



前田万葉大司教を囲んで記念撮影



にイベントを開催し、中国人信徒が集う機会を増やしたいです」と抱負を語った。なみはや教会の信徒代表吉原直子さんは「最近、教会にはベトナム人・フィリピン人・中国人等いろいろな国籍の方が来られています。国境を越えた集いができて良かったです」とよろこびを分かち合った。

※中国の三大節句の一つで十五夜の満月をめでながら豊作を祝う行事。



「カテキズムの学び」

第54回 結婚の秘跡(その1)

*クラスは右のQRコードから



七つの秘跡の学習もいよいよ最後になりました。結婚が秘跡の中の一つであるのは、それが神からの召し出しであり、聖性への道であるからです。

愛によって人間をお造りになられた神は人間を愛へとお招きになりましたが、これはすべての人間に内在する根本的な召し出しです。……男女の相互愛は、人間を愛される神の絶対で不滅の愛を映し出すものとなります。(1604番)

旧約時代においては、まだ一夫一婦制と不解消性が明確ではありませんでしたが、夫婦の忠実さをたたえる旧約聖書のエピソードには事欠きません。

預言者たちはイスラエル民族と神との契約を二人だけの忠実な夫婦愛にたとえ、選ばれた民の良心を培い、結婚の一夫一婦制と不解消性のより深い理解へと導いていきました。ルツ記とトビト記は結婚について、とくに夫婦の忠実さと愛情についての優れた見方を示しています。(1611番)

そして、イエス様が結婚を祝する場におられたところに、秘跡的な根源があると教会は考えています。

教会は、カナの婚宴にイエスが臨席されたことを重視します。教会は、ここで結婚がよいものであることが確認され、これからは結婚がキリストの現存の効果的しるしとなることが宣言された、と読み取っています。(1613番)

結婚が成立するためには、互いの自由な同意と、教会法上の障害がないことが求められます。また、日本で多い、信者と未受洗者との結婚(異宗婚)は、障害の免除が必要です。

この許可もしくは免除が与えられるための条件は、両者が結婚の本質的目的と特性とを知り、それを拒否しないこと、さらにまたカトリック者が、自分には自分の信仰を保持しカトリック教会での子供の洗礼と教育を保証する義務があり、そのことを非カトリック者側にも知らせる必要があるということを確認することです。(1635番)

人生において大きな意味を持つ結婚を神様の保護のもとに置くために、結婚についての教えを学ぶことが大切です。

(文 酒井俊弘補佐司教)

住吉教会堅信式

心の中に聞こえる声に耳を傾けて

9月22日(日)年間第25主日のミサで、酒井俊弘補佐司教により成人1人と中高生5人の堅信式が行われた。

酒井司教は、「堅信式は洗礼を受けた人が信仰を堅め、より良く揺るがないものにする、大人の信者になる、そういうお恵みが注がれるものです。今日の『聖書と典礼』の絵では子どもたちはイエス様を見つめています、使徒たちは自分たちの中で誰が一番偉いかを考えています。イエス様の頭の光輪に見える十字架は、良いこともあるけれど苦しいこともあると示唆していますが、十字架では終わらずに天の国があるのです。福音書の中で、イエス様は子どもを取り上げて『子どものようになりなさい』とおっしゃいます。これは子どものすばらしい点を保ちながら、大人の信者になるということです。私たちが心の中のイエス様の声に耳を傾けて、それが実行できるようになりましょう」と話された。



酒井司教により塗油と霊印が刻まれた

受堅者の代表2人より、司教様や今日の日のために準備をしてくださった皆さまに感謝の言葉を述べて閉祭。ミサ後は担当地区の皆さんが心を込めて準備くださったパーティーで、司教様を囲み歓談の一時を過ごした。キムテゴン神父様もエプロン姿でご活躍でした。



《教会の特色と特徴》
来年2025年に住吉教会は90周年を迎えます。1995年の阪神・淡路大震災では、聖堂、司祭館などが大きな被害を受けました。建物だけではなく、信徒の日常生活もいろいろな影響を受けて、復興に取り組んできました。震災後ほどなくチーム制が発足し、それぞれが神様からいただいたタレントを活かし、互いに仕え合い奉仕する、あたたかで家庭的な雰囲気も特徴の一つだと思っています。隣接する星の園幼稚園も地域と教会の架け橋となつて、毎年卒園生の幾人かは「ご家庭がカトリックではないにもかかわらず」、住吉教会の教会学校に来てくれます。イエス様の光を幼い子ども達の中に灯す教会学校の活動も住吉教会の自慢です。

◆守護 聖パウロ三木
◆神戸市東灘区住吉宮町2-18-23
◆078-851-2756
◆設立年 1935年5月
◆設立年 ホームページ



住吉教会紹介

病者・障がい者とともに歩むミサ

ひとりであるためではなく ともにいるために

9月23日(月・祝)、14時から大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂で「病者・障がい者ととともに歩むミサ」が前田万葉大司教の司式でささげられた。さまざまな事情で現地参加できない人のために、YouTubeの同時収録配信となった。

前田大司教の説教

このごミサの意義は、病者だけでなくより広い意味で、特に障がい者など、すべての苦しんでいる人たちに目を向けることであります。そしてまた、家族や医療従事者、手話通訳、要約筆記、カトリック・スカウトなどボランティアの方々が、病者・障がい者のために尽くし、苦しむ兄弟姉妹に寄り添うという召命を与えてくださったことを神に感謝する機会でもあります。

今年の病者の日の教皇メッセージに「わたしたちは独りであるためにで



ともに歩むミサを通してシノドスに

はなく、ともにいるために創造されたのです。そして、この交わりの計画が人間の心の奥底に刻まれているからこそ、捨て置かれる経験、孤独になる経験を恐れるのであり、それをつらく、非人間的とすら思うのです。重い病によって気弱になり、先の見えない不安な時期には、その傾向はますます強くなります。また、今日の福音でもイエスは、「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである」(ヨハネ9・3)と言って、病者・障がい者にも希望と勇気を与えておられます。病人や障がい者、その家族たちにもそれぞれ神の業が現れるのです。

教皇フランシスコが言うように「病にある皆さんに言いたいのは、寄り添いや優しさを求める気持ちを恥じないでほしいということです。隠さないでいいのです。人の負担になっているなどと思わないでください。病にある状況というのは、慌ただしい生活のペースを緩め、自分自身を見つめ直すよう、だれをも招くのです。病者、弱っている人、貧しい人は教会の中心であり、わたしたちが人間らしい関心を注ぎ、司牧的配慮を払う第一の相手でなければなりません。それを忘れてはなりません。祈りの中で、とりわけ感謝の祭儀の中で、主イエスが与えてくださる相互愛をもって、孤独と孤立の傷をいやしましょう。こうして協力して、個人主義の文化、無関心の文化、使い捨て文化に抗い、優しさの文化とあわれみの文化を広げていき、イエスのいつくしみに倣いつつ、新たな熱意をもって病者・障がい者やそれを世話する人びとのために祈り、シノドス(ともに歩む)ことにいたしましょう。

ミサ終了後、交流会を設けて「ともミサ」(ともに歩むミサ)を締めくくった。

来見なさい



ヨハネ1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

教区委員会主催

信仰養成連続講座◆カテキズムの学び

当面休止

主催 使徒職養成委員会

問 ☎06-6941-9700

2024年度諸宗教対話活動

◆第1回 訪問「仏教との対話：真言宗」

日時 12/14(土)14:00~16:00

場所 真言宗御室派法園寺/兵庫県尼崎市猪名寺1-31-45

お話 松田 常史 住職

主催 諸宗教対話委員会

問 ☎06-6941-9700

✉ird-ecm@ostk.catholic.jp

サクラファミリア主催

「歌え神に新しい歌」テゼ共同体の歌 第2集◆出版記念感謝のつどい

内容 1部 新しい歌を歌おう・2部 祈りのゆうべ

日時 11/17(金)16:00~18:30

共催 サンパウロ大阪宣教センター

間かせてください 神さまと出会った時のこと~エマオへの道で~◆大阪高松教区で働く司祭・修道者ご自身の体験をきく

日時 12/3(火)18:00~19:30 (夜の部)・12/4(水)10:30~12:00(昼の部)

お話 酒井淳神父

(平野・大阪田辺教会)

コレーン神父と学ぶ聖書◆

「主日のみ言葉に生かされる」日曜日の聖書と典礼の福音書をテーマにして、共に学び、分かち合う

日時 11/11・12/9(月)13:30~15:00(9~12月開講)

和田幹男神父◆聖書研究講座『主のしもべイエス』

日時 11/13(水)10:30~12:00

和田幹男神父◆新約聖書ギリシア語(初級)

日時 11/11(月)・11/25(月)17:00~18:30

問 サクラファミリア

☎06-6225-8871

✉f.sacra@ostk.catholic.jp

結婚準備講座

夙川教会

日時 11/3(日)~11/24(日)4回 14:00~15:30

参加費 ¥5,000(2名)

問 ☎0798-22-1649

六甲教会

日時 2025年2/2(日)~2/23(日)4回 14:00~16:00

参加費 ¥5,000(2名)

問 ☎078-851-2846

✉renraku@rokko-catholic.jp

※事前要問合せ(年2回)

黙想会

宝塚黙想の家

◆日帰り黙想会

日時 11/28(木)・11/29(金)

10:00~15:30

指導 染野治雄神父(11/28)

山内十束神父(11/29)

参加費 ¥3,500

◆一泊黙想会

日時 11/15(金)17:00~

11/16(土)15:30

指導 染野治雄神父

参加費 ¥9,000

◆カトリック教会のカテキズム

日時 第1・3(水)10:00~12:00

指導 染野治雄神父

参加費 ¥1,000

◆祈りを深めるための聖書の基本

日時 第1・3(水)10:00~12:00

指導 山内十束神父

参加費 ¥1,000

◆新約聖書の世界への旅

日時 第1(月)19:00~

指導 山内十束神父

問 宝塚黙想の家

☎0797-84-3111

女子御受難修道会◆兄弟会

日時 11/30(土)10:00~16:00

場所 女子御受難修道会

指導 来住英俊神父

(御受難会)

申込 1週間前締め切り

問 女子御受難会 Sr松井

☎0797-84-7863

☎0797-84-7864

講座・研修会

管区部落差別人権活動センター学習会◆すべてのいのちを守る教会をめざして~ハンセン病問題 過ちを繰り返さないために~

講師 Sr松本公子(幼きイエス会) 奥村豊神父(京都教区)

日時 11/23(土)14:00~

場所 サクラファミリア

問 ☎075-223-3340

✉bukatu@kyoto.catholic.jp

宮下規久郎神戸大学教授特別講演会◆「クリスマスと美術」

日時 11/30(土)13:30~

場所 クリスマンセンター 神戸バイブルハウス

参加費 受講料¥2000 (友の会会員¥1500)

主催 神戸バイブルハウス 支援委員会

問 ☎078-252-1966

講座 本田哲郎神父◆小さくされた人々のための福音

日時 第3(金)10:00

場所 神戸学生青年センター

参加費 ¥1,000

主催 神戸国際支縁機構

問 岩村 ☎070-5045-7127

集い

典礼聖歌アンサンブル(TSE)◆創立25+2記念コンサート

日時 11/23(土・祝)13:30開演(13:00開場)

場所 今市教会

入場料 自由献金

問 代表 神馬宏美(四日市教会)

☎090-2387-4291

✉hirojmb15@gmail.com

社会活動神戸センター◆野宿者支援クリスマスチャリティコンサート2024

日時 12/7(土)13:00~16:00

場所 神戸中央教会

入場料 無料・会場献金あり

主催 神戸地区社会活動委員会

問 ☎078-221-4733

✉sinapiskobe@yahoo.co.jp

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15~35歳までの若者の集い

日時 第2(土)14:00~16:00

場所 大阪YCWセンター

(またはZoom)

問 レネ神父・水元

☎072-232-8063

✉osakaycw@gmail.com

HPhttp://www.ycw.jp/

要約筆記グループ“エフアタ!”練習会◆教区ミサ

に要約筆記(文字表示)をつけるボランティア

日時 第2(水)10:00~12:00

場所 教区本部事務局

1階会議室

問 障がい者委員会

✉dis@ostk.catholic.jp

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い

守秘義務と分かち合い

いつ来てもウェルカム

当日キャンセルOK

日時 第3(日)14:00~16:00

場所 姫里集会所

参加費 無料(12月のクリスマス会だけ実費)

申込 吉川まで

問 ☎078-583-2525

✉yassan.yoshikawa@nifty.com

カ障連大阪フレンドリー

◆点字部の勉強会

対象 パソコン点訳に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方

日時 第2(火)13:30~15:00

場所 姫里集会所(奇数月)

北須磨教会(偶数月)

申込 笠松まで

問 ☎090-5661-4324

☎072-722-0271

✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

聴覚障がい者ボランティア会◆聖書の手話表現の学び・教区活動の手話通訳者派遣

対象 手話に興味をお持ちの方 ※手話講習会ではありません

日時 第1・3・5(水)

10:00~14:00

場所 姫里集会所

問 障がい者委員会

✉dis@ostk.catholic.jp

マザー・テレサ共労者の集い◆大阪梅田教会

日時 第1(土)14:00

問 高塚 ☎06-6921-0693

◆加古川教会

日時 第3(火)13:00~14:30

問 森田 ☎079-426-5704

行事等日程

11月	
1 金	諸聖人
2 土	死者の日
4 月	11時 教区納骨者および死者祈念ミサ(カテドラル)
6 水	10時 顧問会・責任役員会
7 木	[常任司教委員会]
9 土	ラテラン教会の献堂
10 日	聖オラシオ世皇教会博士 レオ池長潤名譽大司教霊名
12 火	日韓司教交流会(~15日迄)
17 日	聖書週間(~24日迄) 貧しい人のための世界祈願日
24 日	王であるキリスト 世界青年の日
27 水	10時半 司牧者研修会
12月	
1 日	宣教地召命促進の日(献金)
5 木	[常任司教委員会]
9 月	無原罪の聖マリア
11 水	教皇訪日5周年記念ミサ 10時 顧問会・責任役員会

【岷教会】☎07248915025 (電話番号は今まで通りです)

FAX新設

【変更前】毎週日曜日5時50分(変更後)毎週火曜日4時35分 開始日2024年10月1日(火)

信仰の時間番組放送曜日・時間変更

ベトナム語共同体司教担当司祭

▽Frジョン・ティン ハイ▽Frグエンクオ トゥアン

▽Fr東研 S.X. (いずみB 協力は聖ザベリオ宣教会本部)

▽Frグティエレス エルナンデス イルヴィン アロンソ S.X. (日本語研修はいずみB 協力: S.X. (聖ザベリオ宣教会))

【担当者交代】

※()内は現任地。

【岸和田地区】

2024年度秋人事異動(第2次)

案内・報告

11月司教予定

- 11/2 聖フランシスコ病院修道会 誓願ジュビリー(†S)
 - 11/3 いずみブロック堅信式(岸和田)(†S)
 - 11/4 教区納骨者および死者祈念ミサ(†S)
 - 11/9 聖母被昇天修道会 終生誓願宣立(†S)
 - 11/10 豊中教会堅信式(†S)
 - 11/10 泉南教会 50周年記念(†M)
 - 11/11~14 日韓司教交流会(光州)(†M)(†S)
 - 11/17 しろきたB堅信式(†M)
 - 11/22 ERST教区ワークショップ(†M)(†S)
 - 11/24 梅田ブロック堅信式(†M)
 - 11/25~28 FABC広報担当司教会議(†S)
- †M=前田万葉大司教 †S=酒井俊弘補佐司教

聖書週間は サクラファミリア 聖書講座へ

11/24(日)14:30~16:00

聖書を学び、新しく生きる

「初めに言があった(ヨハネ1・1)」 講師 林 和則 神父

11/18(月)~22(金) 毎日10:30~12:00

シスター & ブラザーといっしょに聖書を読む会

◆18(月) Br阿部 (聖パウロ修道会)

◆19(火) Srロザリオ (聖ドミニコ宣教師女会)

◆20(水) Sr戸村 (師イエズス修道女会)

◆21(木) Sr景山 (善きサマリア人修道会)

◆22(金) Sr斎藤 (カロンデレットの聖ヨゼフ修道会)

主催・問合せ サクラファミリア ☎06-6225-8871

はばたき

皆様は「日本カトリックボランティア連絡協議会」をご存知ですか。

1981年から三年毎に各地で交流研修を行ってきており、2000年日本カトリック司教協議会に公認された団体です。

「カトリックボランティアのあり方」を地球単位の行動・研修や交流で確信する支援を行い、交流の少ない地域で総会開催等の活動をしています。

前会長は宝塚教会「マリアンほしむ」代表、前京都聖母女学校理事長の廣岡洋子氏。事務局は名古屋教区みこころセンター。

18年5月、会長が江ノ口教会無名の私に代わり、今回ははばたきの力で認知度アップ。そして、来年25年4月26・27日、京都聖母女学院短大校舎で第15回総会が開催されます。関心のある方は、こちらに問い合わせを。

E-mail:kakano@seibo.ed.jp

高知地区 宮本 匡士